

としょかんだより



2017.10月 No.3 (高学年)



どくしょしゅうかん
～読書週間おすすめの本～

ジ ャ パ ン
J A P A N ! ～日本を知る～



こうよう うつく あき わ かん きせつ わたし
紅葉の美しい秋は、「和」を感じる季節。私
ちの住む日本という国の歴史や文化、伝統
芸能を、本を通じて感じてみませんか？

タイトル	作者	出版社	請求記号
1 絵で見るおふろの歴史	菊地 ひと美 / 作	講談社	38 キ
2 和菓子のほん	中山 圭子 / 文	福音館書店	59 ナ
3 和楽器にチャレンジ! 1 ～和太鼓を打ってみよう～	坪能 由紀子 / 監修	汐文社	76 ヲ 1
4 野村万斎の狂言	小野 幸恵 / 作	岩崎書店	77 オ
5 平家物語 (ストーリーで楽しむ日本の古典)	石崎 洋司 / 作	岩崎書店	91 イ
6 芭蕉さん	松尾 芭蕉 / 俳句	講談社	91 マ
7 転校生は忍びのつかい	加部 鈴子 / 作	岩崎書店	91 カ

「まっしょうめん！」



あさだ りん / 作
偕成社 (91ア)

海外赴任が決まった父親が「ウチのむすめはサムライです」と言ったせいで、剣道を習うことになってしまった成美。

自分を変えるために、はじめはなりゆきで通っていたけど…



「父さんの小さかったとき」



しおの よねまつ / 文
福音館書店 (38シ)

タイトルは「父さんの」ですが、みなさんにとっては「おじいちゃん」の小さかった時くらいのお話。昭和30年代に生まれていたら、こんな風に毎日すごしていたかもしれませぬ。



「大研究 お米の図鑑」



もとばやし たかし かんしゅう / 監修
国土社 (61ダ)

日本人の主食・お米。実際にお米を作っている学校もあるかと思いますが、より詳しくなれる1冊です。一杯のお茶わんに入っているお米の粒の数までのっています。

